



【東大阪市版】

事業所エコだより

東大阪市では事業系ごみの削減に向け、大規模事業者による再資源化実績、また事業者による資源化の取組みなどをご紹介します『事業所エコだより』を創刊しました。

発行:環境部 循環社会推進課

〒577-8521

東大阪市荒本北1丁目1番1号

TEL : 06-4309-3199(直通)

FAX : 06-4309-3818

E-mail : junkanshakai@city.higashiosaka.lg.jp

HP : http://www.city.higashiosaka.lg.jp

東大阪市循環社会推進課

検索



事業者によるごみ削減の取組みについて取材しました



特定事業者による廃棄物処理実績

特定事業者とは…

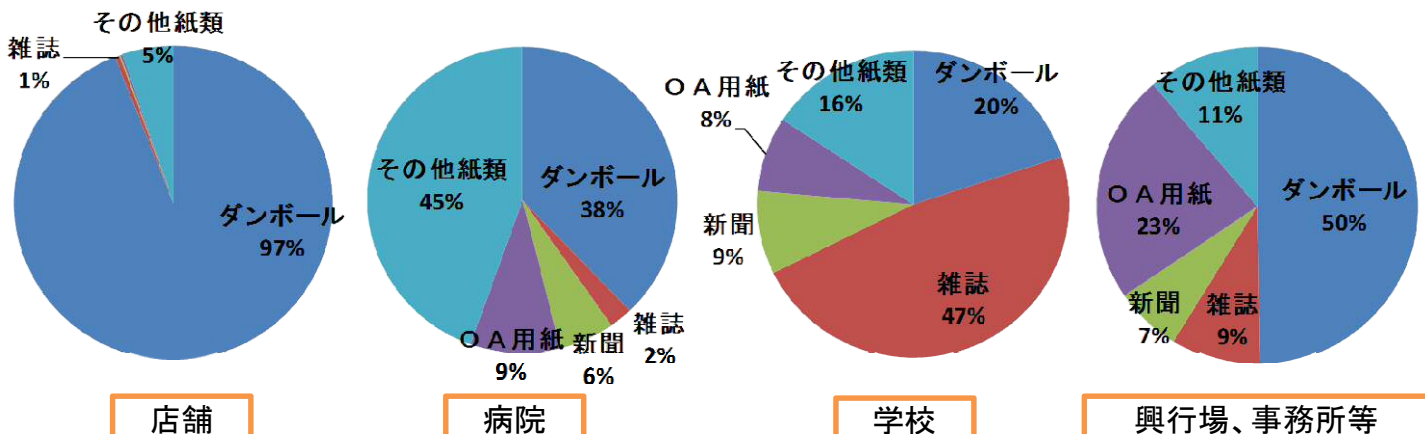
- (1) 1,000㎡以上の店舗面積を有する店舗をもって小売業を営む者
- (2) 患者200人以上の収容施設を有する病院を開設している者
- (3) 学校教育法に規定される高等学校、大学及び短期大学を設置している者
- (4) 3,000㎡以上の延べ面積を有する興行場、遊技場、集会場若しくは旅館においてそれぞれこれらの営業を行う者又は3,000㎡以上の延べ面積を有する事務所において業務を行う者

平成26年度に特定事業者から排出された一般廃棄物の発生量は17,717トンで昨年度より1,041トン増加しております。また、再利用率は9,773トンで、昨年度より688トン減少しております。この結果、廃棄物の再利用率は55.2%で、昨年度より0.6%減っております。東大阪市では、焼却処理量20%削減を目指し、再資源化を推進しております。各事業者様におかれましても、資源の有効利用にご理解いただくとともに、今後もリサイクルの推進にご協力をお願いいたします。次回以降も取材記事の掲載を続ける予定ですので、「こんなことが知りたい!」「うちの取組みを紹介してほしい!」といった声があれば是非ご連絡ください。

| 廃棄物種類 | 発生量 (トン) | 処理区分 | | | | |
|---------|------------------|--------------|-------------|-------------|------|------|
| | | 再利用率 (トン) | 再利用率 (%) | 再利用率 (%) | | |
| 一般廃棄物 | 紙類 | ダンボール | 7,050 | 6,851 | 200 | 97.2 |
| | | 雑誌 | 349 | 296 | 53 | 84.7 |
| | | 新聞 | 122 | 119 | 3 | 97.5 |
| | | OA用紙 | 239 | 189 | 50 | 79.1 |
| | | その他 | 708 | 252 | 456 | 35.6 |
| | 紙類小計 | 8,468 | 7,706 | 762 | 91.0 | |
| | 厨芥類 (茶がら・残飯等生ごみ) | 6,071 | 865 | 5,206 | 14.3 | |
| その他 | 2,305 | 549 | 1,756 | 23.8 | | |
| 小計 | 8,376 | 1,414 | 6,962 | 16.9 | | |
| 一般廃棄物合計 | | 16,845 | 9,120 | 7,724 | 54.1 | |
| その他 | びん類 | 144 | 94 | 50 | 65.2 | |
| | かん類 | 191 | 171 | 20 | 89.4 | |
| | プラスチック類 | 324 | 209 | 115 | 64.5 | |
| | その他 | 213 | 178 | 35 | 83.5 | |
| | 小計 | 873 | 652 | 221 | 74.7 | |
| 総合計 | | 17,717 | 9,773 | 7,945 | 55.2 | |



業種別紙類の廃棄物発生状況



大学での取り組み事例 ～近畿大学～

リサイクルに関する取り組み

新聞・雑誌・オフィス用紙・シュレッダーごみなどは、各研究室、事務室などに設置しているグリーンボックス(キャンパス内に約200個)から回収した後、一時集積場所へ搬入し、リサイクル業者に売却している。
機密文書については、個人情報等漏洩防止対策を施したうえで、リサイクルしている。

ごみ分別排出の徹底

学生にはオリエンテーション時や学生ポータブルシステム「近大UNIPA」を通じて注意喚起している。



グリーンボックス



新聞・ダンボールの置き場



シュレッダーごみの置き場



オフィス用紙などの置き場

事務所での取り組み事例 ～大阪ガス株式会社～

CSR(社会的責任)に関する取り組み

ISO14001の全社統合認証を継続し、この体制のもと、環境マネジメントシステム(EMS)を構築、運用している。

リサイクルに関する取り組み

空き缶、ペットボトル、ダンボール、プラスチック・ビニール類などの分別回収ボックスを設置している。
また、社員食堂から排出される廃油をリサイクルしている。



分別ボックス①



分別ボックス②



分別ボックス③



分別された廃棄物置き場

店舗での取り組み事例 ～近鉄百貨店東大阪店～

CSR(社会的責任)に関する取り組み

蛍光灯からLED化による省エネと耐久性向上による廃棄物の減量化や包装資材削減化としてスマートラッピングの推進

リサイクルに関する取り組み

最も多く排出されるダンボールは、各部門・テナントごとに計量し、まとめて再生処理業者に引き取ってもらい、再生利用されている。
廃油は、再生処理業者に引き取ってもらい、家畜の飼料や燃料等に再生利用されている。



ダンボールの置き場



廃油の置き場



計量器



計量手順の説明